

平成30年度 授業評価アンケート結果（春・秋）

質問項目 3～15 の回答の基準

31. 1. 17

④ 強くそう思う	③ そう思う	② あまりそう思わない	① 全くそう思わない
----------	--------	-------------	------------

I この授業について、お聞きします。（教員）		春学期	秋学期
1	授業はチャイムが鳴ってから、どの位で開始されますか？ ④ チャイムどおり ③ 10分前後遅れ ② 20分前後遅れ ① それ以上遅れる	3.83	3.84
2	授業が終わるのは、終わりのチャイムの何分位前ですか？ ④ チャイムどおりに終了 ③ 10分前後早い ② 20分前後 ① それ以上早い	3.44	3.47
3	授業は、シラバス（授業計画）に沿って進められている。	3.61	3.61
4	授業での説明はわかりやすい。	3.51	3.55
5	授業は、ボードへの板書や補助教材（配付資料、パワーポイント、電子機器など）を使うなど、工夫して行われている。	3.43	3.45
6	先生の声は、はっきり聞こえる。	3.67	3.68
7	授業の進む速さは、ちょうど良い。	3.51	3.53
8	授業では、静かに勉強ができる状況が保たれている。	3.52	3.57
9	授業は、学生の質問や意見を聞くなど興味・関心や意欲を引き出している。	3.46	3.49
10	授業に対する先生の熱意が感じられる。	3.58	3.60
11	授業は、自分にとって役に立つと思う。	3.52	3.52

II この授業に関するあなた自身の態度や取組みについて、お聞きします。（学生）

12	授業に対して、予習・復習した。	3.05	3.01
13	授業には、欠席や遅刻もしないで、積極的に出席した。	3.33	3.30
14	授業には、集中して意欲的に取り組んだ。	3.38	3.36
15	履修登録の科目選択の時に、シラバス（授業計画）を読み、参考にした。	3.16	3.14

III アンケート結果に対するFD委員会としての評価

<アンケート実施に関する評価>

○FD委員会では作業部会が中心となってアンケートの準備及び集計作業を行いました。できるだけ早く集計結果を先生方に還元し、秋学期に向けた授業改善に生かせるよう努めています。標記アンケート対象教員は124名で実施者は117名でした。また、実施対象学生のアンケート回収率は53%で、春学期の60%と比較し7ポイント下がっています。このことから、次年度のアンケート実施に向けては、春・秋とともにすべての先生方の実施とともに対象学生の実施率向上に努める必要があると考えています。

<教員の授業に対する評価>

○教員に対する評価を総合的に春学期と比較すると、秋学期が概ね高くなっていますが、アンケートの回収率が悪いことは中退防止の観点から課題と言えます。アンケート結果に対する信頼度への疑問の声も聞かれますが、複数年度及び質問内容で比較すると、ある一定の傾向は読み取れるものです。絶対的な評価と受け取る必要はないと思いますが参考にする価値はあるものと考えます。

○質問1の「授業開始時間」では、一部かなり遅れて授業が開始されている授業がありますが、概ね時間通りに授業が行われているようです。一方、質問2の「授業終了時間」では、チャイム5分から10分以内に終了する授業が多くなっていますが、演習・実技などの授業では、早めに終了する必要性とともに出席確認等に時間が必要なケースもあると思われます。

○質問3では授業の計画性についての質問ですが、その授業のシラバスについて学生がどの程度認識して授業に臨んでいるかは疑問がありますが、かなり高い評価となっています。年度当初、学生に対して担当者から授業計画が示されているケースが多いことによって、評価が高まっているのではないかと考えているところです。

○質問5・9は、「授業づくり」という視点から評価されているものです。他の質問項目と比較すると、例年、低い数値で推移しています。特に昨年度と比較すると質問9の興味・関心を引き出しているがかなり悪くなっています。FD委員会では工夫された授業の充実をめざして「授業づくり研究」の研修会を定期的実施していますが、各学科、関係教科において積極的な授業研究が推進され、学生の状況に応じた授業の在り方や興味・関心を高める工夫の研究などに努めていただくことが大切ではないかと考えます。

<学生の授業に対する姿勢等>

○質問12～15までの学生自身の授業態度等への質問に対する全体的な評価を春学期と比較すると、すべての項目で数値の減少がみられます。学生の授業に対する姿勢が秋学期は明らかに低下していることを示すものだと思います。

○学生自身の質問の中で質問13・14の出席状況及び授業への取組態度は注視すべき項目です。出席状況はアンケートの回収率の低さからも分かるように今後とも改善のための各学科及びクラス担任を含めた取組が求められます。また、授業への意欲的な参加については、更なる授業づくりの必要性が問われているものと考えます。